

鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会開催報告

エリア：田園（農業とのふれあい）エリア
居住性向上エリアB

テーマ：エリアの将来予想・取組の方向性の共有

開催日時：令和5年10月26日（木）
午後7時00分～午後9時00分

開催場所：市立第五中学校

参加者数：23名（内オンライン参加3名）

今回の説明会は、鳥飼八町を中心とした「田園（農業とのふれあい）エリア」と、鳥飼新町を中心とした「居住性向上エリアB」を対象として開催しました。

説明会では鳥飼まちづくりグランドデザイン策定の背景や、それぞれのエリアの将来予想、その将来予想を実現するための課題及び解決に向けた取組の方向性について、参加いただいた住民等の皆さんに説明しました。

今回、説明会としては初の試みですが、Zoomによるオンライン説明会も同時開催したところ、3名の方がオンラインにより参加いただきました。

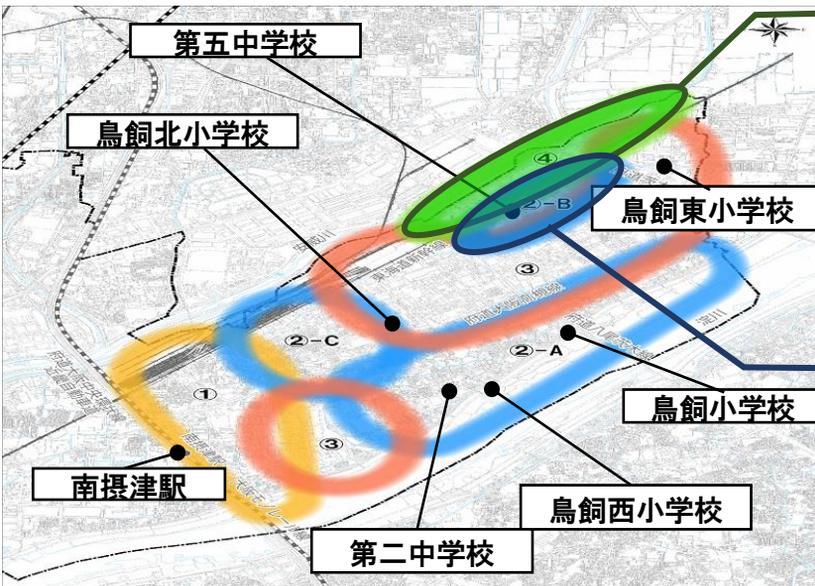


会場の様子



オンライン説明会の様子

今回の対象エリアについて



田園（農業とのふれあい）エリア

鳥飼八町地区を中心とした豊かな田園やそこで栽培される鳥飼なすなどを地域の資源と捉え、大阪都心エリアからのアクセス性の良さを売りに、農業体験や新鮮野菜等の直売など「農」をキーワードにした地域価値の向上を期待するエリアです。鳥飼地域のまちづくりにおける、東の核になることを期待しているエリアでもあります。

居住性向上エリアB

大阪の都心エリアから約10kmと近く、令和5年度末の十三高槻線(正雀工区)の完成や令和9年の鳥飼仁和寺大橋の無料化等で、一層自動車による利便性の向上が期待でき、北側に「田園(農業とのふれあい)エリア」が隣接していることから自然・四季の移ろいを体感しながら居住空間の向上を期待するエリアです。

裏面へ続きます

今回の内容

今回の説明会では、地域の資源（特徴）や課題など、それぞれのエリアの現状を説明するとともに、鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会でもいただいた意見等を基に描いたそれぞれのエリアの将来予想（将来このようになっていけば良いのではないか？というイメージ）及びその将来予想を実現しようとした際の課題と課題解決に向けた取組の方向性を説明しました。

住民等の皆さんからは今後の農業について、地域計画と鳥飼まちづくりグランドデザインとの連携や、なにわの伝統野菜としてPRしている鳥飼なすのあり方などのご意見をいただき、改めて11月27日までに今回の説明で不足している地域資源や、住民等の皆さんの考える目指したい将来予想、課題への対応等について、ご意見をお送りいただくようお願いしました。

今回のエリアの将来予想（イメージ）



居住性向上エリアB



田園（農業とのふれあい）エリア

説明会の資料や議事録等は摂津市HPに掲載していますので、是非ご覧ください。



鳥飼まちづくりグランドデザイン周知活動等の実施について

鳥飼ワンド外来水草除去大作戦（淀川管内河川レンジャー主催）に参加・周知活動を行いました

日時：R5（2023）年11月11日（土）

場所：鳥飼ワンド

第1回ワークショップで議論いただいた「淀川の外来種駆除」、「淀川の水や生き物を学び体験できる」に関連するイベントが開催されましたので、実際に外来水草の除去を体験するとともに、イベント参加者にグランドデザインの内容を説明するとともにワークショップへの参加を促しました。

この鳥飼ワンド外来水草除去大作戦は、毎年5月頃と11月頃に開催されています。



外来水草除去光景1



鳥飼ワンドの位置



外来水草除去光景2

